



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年1月27日

上場会社名 株式会社東京會館  
コード番号 9701 URL <https://www.kaikan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 訓章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 蛸原 望

TEL 03-3215-2111

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,570	51.4	98		154		126	
2022年3月期第3四半期	6,319	102.7	1,215		215		245	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	37.99	
2022年3月期第3四半期	73.63	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,913	7,404	29.7
2022年3月期	24,942	7,122	28.6

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 7,404百万円 2022年3月期 7,122百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2023年3月期の配当予想については、現時点で未定であります。

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、開示しておりません。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,463,943 株	2022年3月期	3,463,943 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	123,629 株	2022年3月期	123,574 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,340,351 株	2022年3月期3Q	3,340,471 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2023年3月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから開示しておりません。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。なお、詳細につきましては、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス新規感染者数の減少とともに人流が回復したことなどにより回復基調の中で推移しました。しかしながら今なお続く感染症の波や足元の資源価格の高騰、更には急激な外国為替変動など、今後の景気回復には依然として予断を許さない状況が継続しています。

このような経済環境のなか当社は、創業100周年という節目の今事業年度をコロナ禍からの回復の年と位置づけ、その実現に向けて、営業・接客・調理の各部門の総合力を発揮して邁進しております。感染症の拡大不安が払拭されない状況のなか、飛沫感染対策・接触感染対策の徹底など、お客様ならびに従業員の安全を最優先にした運営はもちろんのこと、100年の歴史に裏付けされた東京會館ブランドという無形の資産をお客様のニーズと結び付けられるよう、100周年メニューや商品の開発、記念イベントの開催などを積極的に実施してまいりました。また、2022年11月には東京會館本館「レストラン プルニエ」が『ミシュランガイド東京 2023』にて一つ星を獲得し、100周年に華を添えることとなりました。

東京會館では、引き続き新型コロナウイルスとインフルエンザ同時流行の懸念に備え、従業員に更なる感染予防対策を再徹底するなど、お客様が安心してご利用いただける体制の強化を図っております。

当第3四半期累計期間の売上高は、婚礼部門の売上高がコロナ禍前の水準を上回るまで、一般宴会の売上高が前年同期比を大きく上回るまで回復したことに加え、感染症の波が社会経済活動に与えるインパクトが縮小したことにより食堂の来客数も増加し、売上高は大幅に増加し9,570百万円(前年同期比3,251百万円増加)となりました。一方、経費面では、継続的な原価管理の徹底に加え、調理・接客における効率的な現場オペレーションの確立による変動人件費率の圧縮など、コスト管理の高度化を推進してまいりました。その結果、営業利益は98百万円(前年同四半期は営業損失1,215百万円)となりました。社員の雇用・感染症防止対策・営業時間の短縮などに対する助成金や協力金を営業外収益に計上した一方、当局による支給処理の過誤により助成金の一部を返還したことに伴う損失を営業外費用に計上したことなどにより、経常利益は154百万円(前年同四半期は経常損失215百万円)となりました。また、四半期純利益は126百万円(前年同四半期は四半期純損失245百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末に比べて28百万円減少し24,913百万円となりました。その主な要因は、売掛金が305百万円、有価証券が1,000百万円、投資有価証券が221百万円それぞれ増加し、現金及び預金が927百万円、流動資産の「その他」に計上した未収入金が57百万円、有形固定資産が535百万円それぞれ減少したことです。

負債は、前事業年度末に比べて310百万円減少し17,508百万円となりました。その主な要因は、未払金が148百万円増加し、未払法人税等が169百万円、長期借入金が180百万円、固定負債の「その他」に計上したリース債務が170百万円それぞれ減少したことです。

純資産は、四半期純利益の計上などにより、前事業年度末に比べ純額で282百万円増加し7,404百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて1.1ポイント増加して29.7%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2022年5月13日に発表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には適切に開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,444,021	3,516,096
売掛金	311,723	617,410
有価証券	-	1,000,000
商品及び製品	11,529	14,979
仕掛品	5,598	4,373
原材料及び貯蔵品	105,549	136,919
その他	226,680	190,930
貸倒引当金	△207	△325
流動資産合計	5,104,895	5,480,385
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,809,178	11,423,573
構築物(純額)	161,509	157,228
機械装置及び運搬具(純額)	30,108	25,198
工具、器具及び備品(純額)	192,291	174,401
土地	1,958,224	1,958,224
リース資産(純額)	1,335,224	1,185,158
建設仮勘定	145	27,000
有形固定資産合計	15,486,682	14,950,783
無形固定資産		
リース資産	38,530	31,742
電話加入権	3,009	3,009
無形固定資産合計	41,540	34,752
投資その他の資産		
投資有価証券	1,998,303	2,219,778
その他	2,310,817	2,227,678
投資その他の資産合計	4,309,121	4,447,456
固定資産合計	19,837,343	19,432,993
資産合計	24,942,238	24,913,378

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	117,375	245,976
短期借入金	360,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払金	782,149	931,145
未払法人税等	194,117	24,831
賞与引当金	98,000	53,700
その他	767,659	786,065
流動負債合計	2,559,302	2,641,719
固定負債		
長期借入金	11,760,000	11,580,000
退職給付引当金	1,009,741	879,339
資産除去債務	20,502	20,679
その他	2,470,113	2,387,054
固定負債合計	15,260,356	14,867,073
負債合計	17,819,659	17,508,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	2,242,367	2,242,367
利益剰余金	844,656	971,555
自己株式	△443,170	△443,334
株主資本合計	6,343,865	6,470,599
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	778,714	933,986
評価・換算差額等合計	778,714	933,986
純資産合計	7,122,579	7,404,585
負債純資産合計	24,942,238	24,913,378

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	6,319,669	9,570,937
売上原価	6,969,160	8,883,410
売上総利益又は売上総損失(△)	△649,491	687,527
販売費及び一般管理費	566,457	589,368
営業利益又は営業損失(△)	△1,215,949	98,159
営業外収益		
受取利息	22	36
受取配当金	38,850	43,933
助成金収入	570,751	118,019
営業時間短縮等協力金収入	514,351	164,786
その他	6,392	7,563
営業外収益合計	1,130,368	334,339
営業外費用		
支払利息	127,390	73,042
コミットメントフィー	2,071	2,071
信託手数料	—	59,170
助成金返還損	—	143,431
営業外費用合計	129,462	277,716
経常利益又は経常損失(△)	△215,043	154,781
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△215,043	154,781
法人税、住民税及び事業税	7,657	19,204
法人税等調整額	23,258	8,678
法人税等合計	30,915	27,883
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△245,959	126,898

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。